

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2014-1-409
研究課題名	有茎自己心膜を用いた右室流出路再建の長期遠隔成績
研究期間	西暦 2014 年 11 月（倫理委員会承認後）～2015 年 10 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録 ）
上記材料の採取期間	西暦 1995 年 01 月～2014 年 09 月
意義、目的	先天性心疾患における心内修復術の際に右室流出路再建を要する症例は多い。右室流出路再建法はホモグラフトや異種グラフト、人工血管など多数あり、その良好な早期成績が報告されている。一方で成長の観点から遠隔期に再手術が必要な症例が多く、本術式の問題点といえる。当科では成長を期待できる右室流出路再建法として有茎自己心膜を使用した再建法を取り入れ、その良好な早期成績・中期成績を報告している。これまで本法の遠隔成績の報告はない。今回、当科で施行した有茎自己心膜を使用した右室流出路再建の長期遠隔成績を後方視的に調査し、その成績、問題点等を検討することで今後の術式選択に対する端緒とする。
方法	1995 年 1 月から 2005 年 12 月までに当科で有茎自己心膜を使用した右室流出路再建を施行した患者を抽出し、2014 年 9 月までの診療録より術前の心臓超音波検査、CT 検査、術後合併症の有無、生死の有無等の情報を抽出する。抽出された情報を解析し、手術成績やその問題点を検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学心臓血管外科医局 正木 直樹、齋木 佳克 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 022-717-7222